

平成26年度 事業実績報告書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発	事業・枝事業番号	1-1
事業名	郷土資料の調査収集・活用	担当課	学芸課
		種別	補助事業

成果・特徴

所蔵資料の活用については、所蔵資料展において活用を図った。
 写真データベースに1,785点を追加入力し、一般向けの閲覧可能写真(公開用デジタルアーカイブ)は314点となった。
 また、今まで公開されていなかった写真を中心に所蔵資料展で公開し、広報課ネガ約600点をデジタル化し、データベース入力のための下準備を行った。

区分・項目	25年度		26年度				対前年度 決算比	
	予算	決算	当初予算額	予算現額(A)	決算(B)	差異(A-B)		執行率
収入								
事業収益 (円)	500,000	0	0	0	0	0	--	--
自主財源(財団負担金)(円)	2,754,000	2,244,959	0	0	0	0	--	0.0%
区補助金 (円)	22,301,000	20,847,545	22,732,000	22,732,000	20,959,462	1,772,538	92.2%	100.5%
経常収益計	25,555,000	23,092,504	22,732,000	22,732,000	20,959,462	1,772,538	92.2%	90.7%
支出								
事業費 (円)	6,931,000	5,716,439	4,084,000	4,084,000	3,577,520	506,480	87.5%	62.5%
人件費 (円)	18,624,000	17,376,065	18,648,000	18,648,000	17,381,942	1,266,058	93.2%	100.0%
経常費用計	25,555,000	23,092,504	22,732,000	22,732,000	20,959,462	1,772,538	92.2%	90.7%
収 支 (円)	0	0	0	0	0	0	--	--
	目標	実績	目標(C)	実績(D)	差異(D-C)	達成率	備考	
公開用デジタルアーカイブで閲覧できる写真の総数			300	314	14	104.6%	-	
満足度アンケート等結果	-	-	-	-	--	--	-	
単位費用(円)	--	--	126,289	183,855	57,566	54.4%	成果指標のみ	

【実績】

<成果指標> 公開用デジタルアーカイブで閲覧できる写真の総数 300点 <実績> 314点
 達成率 104.6% 前年度実績比較 - (点/点)

<内訳・内容>

- 調査収集
 - (1)寄託受入:1件5点(25年度:0件)
 - (2)寄贈受入:23件151点(25年度:24件375点)
 - (3)埋蔵文化財AAランク受入:0件(25年度:0件)

※26年度から成果指標を「広報課(現 区政情報課)フィルムのデジタル化」から「公開用デジタルアーカイブで閲覧できる写真の総数」に変更した。

- 収集資料の整理
 - (1)保存管理 重要寄贈資料等11,995点を保管。区文化観光課とともに、資料点検を2回(3月)実施した。重要資料収蔵庫燻蒸を12月26日～31日に実施した。
 - (2)整理 寄贈・購入図書を検索システムへの入力を715点行った(累計30,454点)。休館日における収蔵庫整理を2回行った。
 - (3)資料の修復 閲覧用図書18点の修復を行った。
 - (4)林芙美子資料のレプリカを1点(別掲)作成した。
 - (5)所蔵資料展の準備に伴い、区広報課ネガを600点デジタル化した。
 - (6)資料落下防止ネットを設置した。(重要資料収蔵庫1、特別収蔵庫の一部)

- 資料の活用
 - (1)所蔵資料データベースシステム機器の老朽化による入れ替えを行った。
 - (2)写真データベース登録数 1,785点(累計9,214点)。公開用デジタルアーカイブ閲覧可能点数 114点(累計314点)
 - (3)当館資料や新宿に関するレファレンス。平均12件×332日=3,984件(25年度:3,948件)
 - (4)写真貸出対応。148件646点(25年度:170件852点)
 - (5)資料貸出対応。1件20点(25年度:7件435点)
 - (6)資料閲覧対応。12件133点(25年度:9件171点)

- 調査・普及活動への協力
 - (1)紀伊國屋ビル竣工50周年を記念して、常設展示の一部を展示替えした。(4月1日～5月6日)
 - (2)区総務課「平和展」(於区役所)を開催した。(8月4日～14日)

【今後の課題】

- 所蔵資料データベース以外の収蔵品リストの整理・統合を行う。
- 今後の資料受入に対応するための収蔵場所を確保する。
- 資料の適切な管理・活用方針を立案する。
- 資料の継承を図るため、デジタル化・レプリカ作成を計画的に行う。

支出・収益内訳

郷土資料の調査収集・活用

【補助事業】

支出

単位:円

科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算現額	決算額	差異	執行率
人件費	18,648,000	0	0	18,648,000	17,381,942	1,266,058	93.2%
事業費	4,084,000	0	0	4,084,000	3,577,520	506,480	87.5%
臨時雇賃金	266,000	0	0	266,000	263,895	2,105	99.2%
消耗品費	698,000	0	0	698,000	680,313	17,687	97.4%
修繕費	76,000	0	0	76,000	70,041	5,959	92.1%
使用料及び賃借料	575,000	0	0	575,000	376,471	198,529	65.4%
支払負担金	76,000	0	0	76,000	70,000	6,000	92.1%
委託費	2,393,000	0	0	2,393,000	2,116,800	276,200	88.4%
経常費用計	22,732,000	0	0	22,732,000	20,959,462	1,772,538	92.2%

収益

単位:円

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算現額	決算額	差異	収益率
受取区補助金	22,732,000	0	0	22,732,000	20,959,462	1,772,538	92.2%
経常収益計	22,732,000	0	0	22,732,000	20,959,462	1,772,538	92.2%

平成26年度 事業実績報告書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発	事業・枝事業番号	1-2
事業名	展示会の開催	担当課	学芸課
		種別	補助事業

成果・特徴

特別展2本(「高須四兄弟」「新宿に縄文人現る」)、所蔵資料展4本(写真展「新宿・昭和40年代」・「詩人高田敏子生誕100年」・「新宿区ができたころ」・写真展「新宿・昭和50-60年代」)を実施、観覧者計21,246人だった。特に秋に実施した特別展「高須四兄弟」は観覧者7,382人、1日平均107人と、近年の展示会の中で顕著な成果を上げた他、写真展も毎年実施していることが定着し、それぞれ観覧者5,000人を超えた。

区分・項目	25年度		26年度				対前年度 決算比		
	予算	決算	当初予算額	予算現額(A)	決算(B)	差異(A-B)		執行率	
収	事業収益 (円)	0	0	0	0	0	0	--	--
入	区補助金 (円)	33,126,000	31,141,677	33,215,000	33,215,000	31,087,998	2,127,002	93.5%	99.8%
	経常収益計	33,126,000	31,141,677	33,215,000	33,215,000	31,087,998	2,127,002	93.5%	99.8%
支 出	事業費 (円)	11,073,000	10,459,728	11,009,000	11,009,000	9,982,057	1,026,943	90.6%	95.4%
	人件費 (円)	22,053,000	20,681,949	22,206,000	22,206,000	21,105,941	1,100,059	95.0%	102.0%
	経常費用計	33,126,000	31,141,677	33,215,000	33,215,000	31,087,998	2,127,002	93.5%	99.8%
収 支 (円)		0	0	0	0	0	0	--	--
		目標	実績	目標(C)	実績(D)	差異(D-C)	達成率	備考	
	来場者数(人)	22,000	18,083	17,000	21,246	4,246	124.9%	-	
	満足度アンケート等結果	3.0	4.3	3.0	4.4	1.4	146.6%	-	
	単位費用(円)	1,506	1,722	1,954	1,463	△ 491	125.1%	成果指標のみ	

【実績】

<成果指標> 来場者数(人) 17,000人 <実績> 21,246人
 達成率 124.9% 前年度実績比較 117.4%
 (人/人) (人/人)

<内訳・内容>

1 特別展

- (1)「高須四兄弟—新宿・荒木町に生まれた幕末維新」
 9月13日(土)～11月24日(月) 69日間 観覧者 7,382人 観覧料一般300円・中学生以下無料・常設展セット券500円
 観覧料収入1,178,100円(指定管理)
 【関連事業】①内覧会 参加者74人 ②記念講演会 2回 参加者247人 ③ギャラリートーク 11回 参加者336人
 ④朗読会3回 参加者98人 ⑤れきはくカフェ3回 参加者 568人
- (2)「新宿に縄文人現る—市谷加賀町二丁目遺跡の発見—」
 3月8日(日)～3月31日(火) 22日間 (全会期は3月8日～5月6日) 観覧者 2,053人 観覧料一般300円(常設展込み)・
 高校生以下無料 観覧料収入 103,400円(指定管理)
 【関連事業】①内覧会 参加者 61人 ②記念講演会 2回 参加者235人 ③ギャラリートーク 3回 参加者85人
 ④れきはくカフェ1回 参加者98人 ⑤講談 参加者96人

2 所蔵資料展 (観覧無料)

- (1) 写真展「新宿・昭和40年代」
 4月1日(火)～4月13日(日) 13日間(全会期は2月1日～4月13日) 観覧者 1,340人
 【関連事業】①ギャラリートーク 2回 参加者34人
- (2)「高田敏子生誕100年 “子どもへのまなざし”」
 4月26日(土)～6月15日(日) 47日間 観覧者 2,043人
 【関連事業】①関連講演会2回 参加者150人 ②ギャラリートーク8回 参加者76人
- (3)「新宿区ができたころ」
 6月28日(土)～8月31日(日) 61日間 観覧者 3,014人
 【関連事業】①関連講演会3回 参加者168人 ②ギャラリートーク10回 参加者117人
- (4) 写真展「新宿・昭和50-60年代」
 12月6日(土)～2月22日(日) 65日間 観覧者 5,414人
 【関連事業】①関連講演会2回 参加者149人 ②ギャラリートーク10回 参加者220人

【今後の課題】

- 1 特別展は、企画の工夫と、さらなる内容の充実をはかるとともに、PRの充実を検討する。
- 2 所蔵資料展は、資料の調査と共に、収蔵庫の整理を念頭に置きながら実施するよう努める。
- 3 展示会を開催することで、様々な団体・個人との連携を構築・強化していく。

支出・収益内訳

展示会の開催

【補助事業】

支出

単位:円

科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算現額	決算額	差異	執行率
人件費	22,206,000	0	0	22,206,000	21,105,941	1,100,059	95.0%
事業費	11,009,000	0	0	11,009,000	9,982,057	1,026,943	90.6%
臨時雇賃金	531,000	0	0	531,000	525,900	5,100	99.0%
旅費交通費	636,000	0	0	636,000	301,455	334,545	47.3%
通信運搬費	62,000	0	0	62,000	61,927	73	99.8%
消耗品費	893,000	0	0	893,000	754,881	138,119	84.5%
印刷製本費	2,231,000	0	0	2,231,000	1,990,418	240,582	89.2%
使用料及び賃借料	331,000	0	0	331,000	259,404	71,596	78.3%
保険料	100,000	0	0	100,000	56,970	43,030	56.9%
諸謝金	552,000	0	0	552,000	490,000	62,000	88.7%
委託費	5,673,000	0	0	5,673,000	5,541,102	131,898	97.6%
經常費用計	33,215,000	0	0	33,215,000	31,087,998	2,127,002	93.5%

収益

単位:円

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算現額	決算額	差異	収益率
受取区補助金	33,215,000	0	0	33,215,000	31,087,998	2,127,002	93.5%
經常収益計	33,215,000	0	0	33,215,000	31,087,998	2,127,002	93.5%

平成26年度 事業実績報告書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発	事業・枝事業番号	1-3
事業名	文化財等の保存・公開	担当課	学芸課
		種別	補助事業

成果・特徴

今年度より、「国史跡の普及啓発」「高田馬場流鏑馬の公開」「新宿区伝統芸能フェスティバル」「ミニ博物館の支援」を事業統合して実施した。「新宿区伝統芸能フェスティバル」については、平成25年度より、舞台上演と講座・体験形式による伝統芸能等の普及を隔年で実施し、今年度は、「新宿民俗芸能の集い」を牛込笹筈区民ホールで開催した。過去の来場者実績から周知の強化、参加料無料とした結果、当日は多くの来場者が新宿の民族芸能に親しむことができた。

区分・項目	25年度		26年度					対前年度 決算比	
	予算	決算	当初予算額	予算現額(A)	決算(B)	差異(A-B)	執行率		
収	事業収益 (円)	248,000	342,500	0	0	0	0	--	0.0%
入	区補助金 (円)	6,210,000	5,298,518	6,411,000	6,411,000	5,488,288	922,712	85.6%	103.5%
	経常収益計	6,458,000	5,641,018	6,411,000	6,411,000	5,488,288	922,712	85.6%	97.2%
支 出	事業費 (円)	5,360,000	4,620,593	5,316,000	5,316,000	4,479,920	836,080	84.2%	96.9%
	人件費 (円)	1,098,000	1,020,425	1,095,000	1,095,000	1,008,368	86,632	92.0%	98.8%
	経常費用計	6,458,000	5,641,018	6,411,000	6,411,000	5,488,288	922,712	85.6%	97.2%
収 支 (円)		0	0	0	0	0	0	--	--
		目標	実績	目標(C)	実績(D)	差異(D-C)	達成率	備考	
林氏墓地の公開:来場者数(人)		600	777	250	262	12	104.8%	-	
高田馬場流鏑馬:観覧者数(人)		3,500	3,500	3,500	1,500	△ 2,000	42.8%	-	
満足度アンケート等結果		3.0	4.6	3.0	4.6	1.6	153.3%	-	
単位費用(円)		1,515	1,239	1,710	3,115	1,405	17.8%	成果指標+同2	

【実績】

<成果指標1>	林氏墓地の公開:来場者数(人)	250 人	< 実績 >	262 人
		達成率 104.8%		前年度実績比較 33.7%
		(人/人)		(人/人)
<成果指標2>	高田馬場流鏑馬:観覧者数(人)	3,500 人	< 実績 >	1,500 人
		達成率 42.8%		前年度実績比較 42.8%
		(人/人)		(人/人)

<内訳・内容>

- 国史跡「林氏墓地」の公開
11月1日(土)～3日(月・祝)の3日間
(1)東京都文化財ウィークに合わせ、国史跡「林氏墓地」の公開を実施した。史跡ガイドボランティアによるガイドを実施した。
①11月1日(土)参加者49人②11月2日(日)参加者82人③11月3日(月・祝)参加者131人 計262人。参加料:無料
(2)林氏墓地樹木の剪定と除草2回実施した。(第1回目6月26日(木)東側シノキ腐朽枝の切除。第2回目10月16日(木))
(3)林氏墓地墓石現状調査:10月26日(日)
- 高田馬場流鏑馬の公開
10月13日(月・祝)14時～16時 都立戸山公園箱根山地区
主催:高田馬場流鏑馬保存会
後援:新宿区、新宿区教育委員会、東京都教育委員会
協力:穴八幡宮、新宿区立新宿歴史博物館
観覧者数:沿道観覧者及び戸山公園内観覧者1,500人。(台風17号の接近による荒天の予報の影響) 参加料:無料
- ミニ博物館の支援
(1)パンフレットの印刷(実施館のみ):目白学園遺跡10,000部
(2)ミニ博物館看板の修繕:染の里二葉苑:看板表面の劣化・剥離防止のための耐久性シートの貼付をした。
ミニ博物館の来館者用スタンプを制作した:「十二社 熊野神社の文化財」1件、「東京染ものがたり博物館」1件 計2件
(3)ミュージアムショップ:当館にて染の里二葉苑、東京染ものがたり博物館、つまみかんざし博物館の商品を販売した。
【取引売上】※収入については、新宿歴史博物館の運営(2)指定管理事業に計上した。
二葉苑収入:187個/166,860円(当財団収入16,682円)
つまみかんざし博物館:31個/28,836円(当財団収入2,880円)
東京染ものがたり博物館:14個/46,200円(当財団収入4,620円)
- 新宿区伝統芸能フェスティバルの開催
新宿区民俗芸能の集い「お神楽とお囃子」を開催した。
11月30日(日)14時～16時 牛込笹筈区民ホール 観覧者数218人
主催:公益財団法人未来創造財団 共催 新宿区・新宿区教育委員会
里神楽萩原社中はぎわら会「日代の宮」「熊襲征伐」2演目 戸塚囃子保存会「通り囃子」1演目 計3演目 参加料:無料

【今後の課題】

- 林氏墓地については、墓地内の樹木が大きくなり枝や根の増大により墓石の損壊や塀への影響が考えられことから新宿区と協議していく必要がある。
- 高田馬場流鏑馬については、観覧者の増加に伴い、会場整備や当日の運営など安全性を重視した事業運営ができるよう支援する。
また、公開当日が雨天・荒天の場合の運営方法や体制づくりを保存会・穴八幡宮と協議検討する。
- 新宿区施設の補完的な事業であるため、新宿区と定期的に意見交換の場を設ける。
- 伝統芸能は、区指定無形民俗文化財保持団体に絞ってプログラムを組み、参加料も無料であったことも観客動員の要因であった。
さらに観覧者を増やすための広報活動の工夫が必要である。

支出・収益内訳

文化財等の保存・公開

【補助事業】

支出

単位:円

科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算現額	決算額	差異	執行率
人件費	1,095,000	0	0	1,095,000	1,008,368	86,632	92.0%
事業費	5,316,000	0	0	5,316,000	4,479,920	836,080	84.2%
通信運搬費	28,000	0	0	28,000	27,946	54	99.8%
消耗品費	394,000	0	0	394,000	391,354	2,646	99.3%
修繕費	87,000	0	6,000	93,000	92,664	336	99.6%
印刷製本費	989,000	0	△ 16,000	973,000	342,122	630,878	35.1%
諸謝金	0	0	10,000	10,000	10,000	0	100.0%
委託費	3,818,000	0	0	3,818,000	3,615,834	202,166	94.7%
経常費用計	6,411,000	0	0	6,411,000	5,488,288	922,712	85.6%

収益

単位:円

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算現額	決算額	差異	収益率
受取区補助金	6,411,000	0	0	6,411,000	5,488,288	922,712	85.6%
経常収益計	6,411,000	0	0	6,411,000	5,488,288	922,712	85.6%

平成26年度 事業実績報告書

定款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発	事業・枝事業番号	1-4
事業名	講座・講演会の開催	担当課	学芸課
		種別	自主事業

成果・特徴

当初予定していた歴史講座「新宿の藩邸」を特別展「高須四兄弟」に関連付けて開催し、多くの参加者を得た。また、平成27年に行われる熊本県との協働企画展「熊本と新宿をつなぐ作家 漱石・八雲」のイベントとして「漱石関連講演会」「小泉八雲没後110年記念講演会」を開催し、どちらも定員を上回り、好評を博した。

区分・項目	25年度		26年度					対前年度 決算比
	予算	決算	当初予算額	予算現額(A)	決算(B)	差異(A-B)	執行率	
収入								
事業収益 (円)	1,204,000	1,290,500	1,299,000	1,299,000	1,816,100	△ 517,100	139.8%	140.7%
自主財源 (財団負担金) (円)	305,000	△ 296,938	230,000	230,000	△ 357,126	587,126	--	120.2%
区補助金 (円)	275,000	254,818	274,000	274,000	249,695	24,305	91.1%	97.9%
経常収益計	1,784,000	1,248,380	1,803,000	1,803,000	1,708,669	94,331	--	136.8%
支出								
事業費 (円)	1,509,000	993,562	1,529,000	1,529,000	1,458,974	70,026	95.4%	146.8%
人件費 (円)	275,000	254,818	274,000	274,000	249,695	24,305	91.1%	97.9%
経常費用計	1,784,000	1,248,380	1,803,000	1,803,000	1,708,669	94,331	94.7%	136.8%
収支 (円)	0	0	0	0	0	0	--	--
	目標	実績	目標(C)	実績(D)	差異(D-C)	達成率	備考	
延べ受講者数(人)	2,430	2,749	2,350	4,708	2,358	200.3%	-	
満足度アンケート等結果	3.0	4.6	3.0	4.6	1.6	153.3%	-	
単位費用(円)	239	△ 15	214	△ 23	△ 237	210.6%	成果指標のみ	

【実績】

<成果指標> 延べ受講者数(人) 2,350人 <実績> 4,708人
達成率 200.3% 前年度実績比較 171.2% (人/人)

<内訳・内容>

- 古文書講座
「初級編」5月10・17・24・31日、6月7日、「中級編」8月30日、9月6・13・20・27日の土曜日14時～16時
参加料:全5回2,000円(単回受講なし) 定員:600人 参加者数:656人
- 歴史講座
「目白文化村」6月21・28日の土曜日14時～16時 参加料:1,000円 定員:120人 参加者数:131人
「高須四兄弟」10月25日、11月1・8・22・29日の土曜日14時～16時 参加料:2,000円 定員:300人 参加者数:356人
「ご先祖講座」6月15日・22日・29日の日曜日14時～16時 参加料:1,500円 定員:180人 参加者数:235人
- 史跡関連講座
「江戸城講座」6月8・15・22・29日、7月6日の日曜日10時～12時 参加料:2,000円 定員:300人 参加者数:374人
「江戸の朱子学」11月2日、11月9日の日曜日10時～12時 参加料:1,000円 定員:120人 参加者数:95人
- 学芸員と学ぶ新宿の歴史
「新宿の富士講」6月12・19日の木曜日10時～12時 参加料:500円 定員:120人 参加者数:91人
「新宿の縄文時代」3月19日・26日の木曜日10時～12時 参加料:500円 定員:120人 参加者数:118人
- 伝統の世界
「講談入門」8月3日(日)18時～20時、11月15日(土)14時～16時 参加料:1,000円 定員:200人 参加者数:183人
「投扇興」11月24日(月祝)、3月21日(土)10時～12時 参加料:500円 定員:40人 参加者数:74人
「掛軸づくり」8月23日(土)13時～17時 参加料:4,000円(うち材料費3,000円) 定員:30人 参加者数:26人
「和綴じ」8月10日(日)14時～16時 参加料:100円 定員:40人 参加者数:60人
- 所蔵資料展関連講座
「高田敏子生誕100年展」5月25日、6月1日の日曜日14時～16時 参加料:500円 定員:120人 参加者数:150人
「新宿区ができた頃」7月6日(日)14時～16時 参加料:500円 定員:60人 参加者:49人
8月23・30日の土曜日10時～12時 参加料:1,000円 定員120人 参加者:119人
写真展「昭和50-60年代」12月20日(日)、1月17日(土)14時～16時 参加料:500円 定員:120名 参加者数:149人
- 近代史講演会
8月17日(日)14時～16時 参加料:500円 定員:60人 参加者数:79人
- 中高生からわかる世界一楽しい歴史
8月17日(日)10時～12時 参加料:500円(高校生以下無料) 定員:60人 参加者数:80人
- 夏休み子どもイベント
「勾玉づくり」全3回、「編布づくり」全2回、「れきはく探検」全3回、「都電荒川車庫見学」「イラスト講座」「むかしの遊び」
「四谷駅エコツアー」「絵日記コンテスト」「れきはく自習室」
7月20日～8月20日の間の水・土・日曜日10時～12時、14時～15時、15時～17時 参加料:無料～500円 参加者数:673人
- 絵手紙講座
5月12日、12月1日の月曜日10時～12時 参加料:500円 定員:40人 参加者数:35人
- 協働講座・講演会
「東京堂」8月2日、11月29日の土曜日10時～12時 参加料:700円、1,500円 定員:60人 参加者数:83人
「NHK」4月12日(土)4時～16時、6月28日(土)10時～12時、9月23日(火祝)14時～16時、1月31日(土)14時～16時、
3月28日(土)14時～16時 参加料:無料 定員:600人 参加者数:512人
「消防博物館」8月24日(日)10時～12時 参加料:500円 定員:60人 参加者数:33人
「漱石関連講演会」1月10・17・24日の土曜日10時～12時 参加料:1,500円 定員:180名 参加者数:253人
「小泉八雲没後110年記念講演会」12月13日(土)14時～16時 参加料:500円 定員:100名 参加者数:94人

【今後の課題】

- 漱石山房記念館開館に向けて、区民への夏目漱石への興味を喚起するため、積極的に関連講座やイベントを行う。
- 伝統工芸講座等、夏季に行う体験系の講座を可能な限り子どもも参加できるものにし、夏休み子どもイベントのいっそうの充実を図る。

支出・収益内訳

講座・講演会の開催

【自主事業】

支出

単位:円

科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算現額	決算額	差異	執行率
人件費	274,000	0	0	274,000	249,695	24,305	91.1%
事業費	1,529,000	0	0	1,529,000	1,458,974	70,026	95.4%
通信運搬費	7,000	0	5,000	12,000	11,949	51	99.5%
消耗品費	455,000	0	△ 41,000	414,000	361,205	52,795	87.2%
使用料及び賃借料	31,000	0	0	31,000	13,820	17,180	44.5%
諸謝金	1,036,000	0	36,000	1,072,000	1,072,000	0	100.0%
経常費用計	1,803,000	0	0	1,803,000	1,708,669	94,331	94.7%

収益

単位:円

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算現額	決算額	差異	収益率
事業収益	1,299,000	0	0	1,299,000	1,816,100	△ 517,100	139.8%
自主財源	230,000	0	0	230,000	△ 357,126	587,126	--
受取区補助金	274,000	0	0	274,000	249,695	24,305	91.1%
経常収益計	1,803,000	0	0	1,803,000	1,708,669	94,331	--

平成26年度 事業実績報告書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発	事業・枝事業番号	1-5
事業名	歴史文化探訪	担当課	学芸課
		種別	自主事業

成果・特徴

新宿区内6回、区外4回、計10回の事業を、博物館ボランティア(史跡ガイドボランティア)との協働で行った。参加者数は前年度より大幅に増加した。

区分・項目	25年度		26年度					対前年度 決算比
	予算	決算	当初予算額	予算現額(A)	決算(B)	差異(A-B)	執行率	
収入								
事業収益 (円)	180,000	157,500	260,000	260,000	310,000	△ 50,000	119.2%	196.8%
自主財源(財団負担金)(円)	△ 28,000	△ 154,509	△ 102,000	△ 102,000	△ 207,391	105,391	--	134.2%
区補助金 (円)	197,000	181,189	195,000	195,000	171,505	23,495	87.9%	94.6%
経常収益計	349,000	184,180	353,000	353,000	274,114	78,886	--	148.8%
支出								
事業費 (円)	152,000	2,991	158,000	158,000	102,609	55,391	64.9%	3430.5%
人件費(区補助金)(円)	197,000	181,189	195,000	195,000	171,505	23,495	87.9%	94.6%
経常費用計	349,000	184,180	353,000	353,000	274,114	78,886	77.6%	148.8%
収 支 (円)	0	0	0	0	0	0	--	--
	目標	実績	目標(C)	実績(D)	差異(D-C)	達成率	備考	
延べ参加者数(人)	360	315	520	620	100	119.2%	-	
満足度アンケート等結果	3.0	4.7	3.0	4.6	1.6	153.3%	-	
単位費用(円)	469	85	179	-58	△ 237	232.3%	成果指標のみ	

【実績】

<成果指標> 延べ参加者数(人) 520人 <実績> 620人
 達成率 119.2% 前年度実績比較 196.8%
 (人/人) (人/人)

<内訳・内容>

- 1 「江戸の伝統を受け継ぐ銀座を歩く」
4月29日(日) 参加者83人 ボランティア数21人
- 2 「アトリエめぐり」
5月 6日(祝・火) 参加者54人 ボランティア数9人
- 3 「神宮外苑・スポーツの聖地を歩く」
5月20日(日) 参加者47人 ボランティア数16人
- 4 「帝都東京の近代建築と江戸城」
6月 1日(日) 参加者67人 ボランティア数14人
- 5 「伝説と信仰の地戸塚をあるく」
9月17日(水) 参加者51人 ボランティア数9人
- 6 「上野戦争の跡をめぐる」
10月 5日(日) 参加者54人 ボランティア数16人
- 7 「高須四兄弟のふるさとを探る」
10月19日(日) 参加者75人 ボランティア数12人
- 8 「牛込の裏町と林氏墓地特別公開」
11月 3日(日) 参加者81人 ボランティア数8人
- 9 「漱石と神楽坂」
12月 9日(火) 参加者44人 ボランティア数10人
- 10 「江戸四宿・品川宿を歩く」
3月22日(日) 参加者64人 ボランティア数16人

【今後の課題】

- 1 新宿区内における新たな魅力あるコースを設定する。
- 2 史跡ガイドボランティアのガイド力の向上を図る。
- 3 他地域からの参加者を増加させ、かつガイド方法を研究する。
- 4 参加希望者の多かった場合の適正当選者数の決定方法を検討する。

支出・収益内訳

歴史文化探訪

【自主事業】

支出

単位:円

科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算現額	決算額	差異	執行率
人件費	195,000	0	0	195,000	171,505	23,495	87.9%
事業費	158,000	0	0	158,000	102,609	55,391	64.9%
通信運搬費	4,000	0	0	4,000	2,307	1,693	57.6%
消耗品費	147,000	0	0	147,000	100,302	46,698	68.2%
使用料及び賃借料	7,000	0	0	7,000	0	7,000	0.0%
經常費用計	353,000	0	0	353,000	274,114	78,886	77.6%

収益

単位:円

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算現額	決算額	差異	収益率
事業収益	260,000	0	0	260,000	310,000	△ 50,000	119.2%
自主財源	△ 102,000	0	0	△ 102,000	△ 207,391	105,391	--
受取区補助金	195,000	0	0	195,000	171,505	23,495	87.9%
經常収益計	353,000	0	0	353,000	274,114	78,886	--

平成26年度 事業実績報告書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発	事業・枝事業番号	1-6
事業名	学校等への教育活動支援	担当課	学芸課
		種別	補助事業

成果・特徴

区内・区外の幼稚園、小・中学校における地域学習・歴史学習を支援するため、博物館及び所蔵資料を活用して社会科見学や出張授業、職場体験等を行った。また、近隣大学からのインターンシップ生や博物館実習生を受け入れ、今年度は新たに大学のゼミ研究発表の場の提供も行い、教育活動、生涯学習を支援した。

区分・項目	25年度		26年度					対前年度 決算比
	予算	決算	当初予算額	予算現額(A)	決算(B)	差異(A-B)	執行率	
収入								
事業収益 (円)	0	0	0	0	0	0	--	--
区補助金 (円)	2,307,000	2,101,795	2,282,000	2,282,000	2,156,700	125,300	94.5%	102.6%
経常収益計	2,307,000	2,101,795	2,282,000	2,282,000	2,156,700	125,300	94.5%	102.6%
支出								
事業費 (円)	473,000	380,165	433,000	433,000	391,140	41,860	90.3%	102.8%
人件費 (円)	1,834,000	1,721,630	1,849,000	1,849,000	1,765,560	83,440	95.4%	102.5%
経常費用計	2,307,000	2,101,795	2,282,000	2,282,000	2,156,700	125,300	94.5%	102.6%
収 支 (円)	0	0	0	0	0	0	--	--
	目標	実績	目標(C)	実績(D)	差異(D-C)	達成率	備考	
延べ連携学校数(校)	40	50	40	58	18	145.0%	-	
満足度アンケート等結果	-	-	-	-	-	-	-	
単位費用(円)	57,675	42,036	57,050	37,184	△ 19,866	134.8%	成果指標のみ	

【実績】

<成果指標> 延べ連携学校数(校) 40 校 < 実 績 > 58 校
 達成率 145.0% 前年度実績比較 116.0%
 (校/校) (校/校)

<内訳・内容>

- 1 年度はじめに「新宿歴史博物館活用の手引き」を区内の小中学校39校に配布した。
- 2 社会科見学・職場体験等の受け入れ 合計:延べ38校、1,615人(内訳:子ども1,479人、大人136人)
 内訳 (1)社会科見学 合計:延べ 33校、1,607人(内訳:子ども1,471人、大人136人)
 幼稚園:延べ1校、104人(内訳:子ども99人、大人5人)
 小学校:延べ29校、1,429人(内訳:子ども1,301人、大人128人)
 中学校:延べ3校、74人(内訳:子ども71人、大人3人)
 ※小学校社会科見学では、子ども用「常設展・学習のしおり」を児童・教諭に配布した。
 (2)中学校職場体験・職場訪問 合計:延べ5校、8人(内訳:子ども8人、大人0人)
- 3 学校授業への貸出用資料の貸出及び出張授業の対応 合計:延べ 12校、547人(内訳:子ども529人、大人18人)
 内訳 (1)出張授業 合計:延べ 12校、547人(内訳:子ども529人、大人18人)
 小学校:延べ11校、480人(内訳:子ども463人、大人17人)
 中学校:延べ1校、67人(内訳:子ども66人、大人1人)
- 4 博物館実習生の受け入れ 大学:6校、6人、10日間
- 5 インターンシップの受け入れ 大学:1校、2人、10日間
- 6 大学のゼミ研究発表会への協力 大学:1校、15人
- 7 夏休み学校向けチラシの印刷 17,000部
- 8 体験用資料の購入
 内訳 火おこしセット、ベーゴマ、ベーゴマ床、おはじき、下駄、わらじ、わらぞうり、わらぐつ、はたき、しゅろぼうき、蛇の目傘、拍子木、鬼おろし、ところてん突き等

【今後の課題】

- 1 小学校以外の学校の社会科見学利用を促進する。特に中学校の利用件数増加に向けて、印刷物の作成等の施策を行う。
- 2 体験用資料の増加と整備を行う。また、それらを活用した、分かりやすく適切な講義が行える人材を育成する。
- 3 学校へ授業提案メニューやハンズオン等の周知を行い、学校教育の中で博物館資料の活用を充実させる。

支出・収益内訳

学校等への教育活動支援

【補助事業】

支出

単位:円

科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算現額	決算額	差異	執行率
人件費	1,849,000	0	0	1,849,000	1,765,560	83,440	95.4%
事業費	433,000	0	0	433,000	391,140	41,860	90.3%
消耗品費	130,000	0	0	130,000	128,592	1,408	98.9%
印刷製本費	303,000	0	0	303,000	262,548	40,452	86.6%
経常費用計	2,282,000	0	0	2,282,000	2,156,700	125,300	94.5%

収益

単位:円

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算現額	決算額	差異	収益率
受取区補助金	2,282,000	0	0	2,282,000	2,156,700	125,300	94.5%
経常収益計	2,282,000	0	0	2,282,000	2,156,700	125,300	94.5%

平成26年度 事業実績報告書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発	事業・枝事業番号	1-7
事業名	林芙美子関連記念事業	担当課	学芸課
		種別	自主事業

成果・特徴

新宿区にゆかりの深い作家 林芙美子の資料のレプリカを作成した。
 ・座椅子(尾道市所蔵):林芙美子記念館の書斎の再現
 ・原稿3点(「家をつくるにあたって」、「落合日記」、「放浪記第2部あとがき」):資料保護と資料の公開
 作家林芙美子の周知と林芙美子記念館来館者サービスの向上を図ることができた。

区分・項目	25年度		26年度				対前年度 決算比	
	予算	決算	当初予算額	予算現額(A)	決算(B)	差異(A-B)		執行率
収入								
事業収益 (円)	0	0	0	0	0	0	--	--
自主財源(財団負担金)(円)	4,670,000	2,889,164	1,912,000	1,912,000	939,987	972,013	--	32.5%
経常収益計	4,670,000	2,889,164	1,912,000	1,912,000	939,987	972,013	--	32.5%
支出								
事業費 (円)	4,670,000	2,889,164	1,912,000	1,912,000	939,987	972,013	49.1%	32.5%
人件費 (円)	0	0	0	0	0	0	--	--
経常費用計	4,670,000	2,889,164	1,912,000	1,912,000	939,987	972,013	49.1%	32.5%
収 支 (円)	0	0	0	0	0	0	--	--
	目標	実績	目標(C)	実績(D)	差異(D-C)	達成率	備考	
林芙美子資料のレプリカ作成を着実に実施する	-	-	-	-	--	--	-	
満足度アンケート等結果	-	-	-	-	--	--	-	
単位費用(円)	--	--	--	--	--	--	成果指標のみ	

【実績】

<成果指標> 林芙美子資料のレプリカ作成を着実に実施する。 < 実 績 >
 達成率 -- 前年度実績比較 --

<内訳・内容>

平成23年度に林福江様(林芙美子の姪御様)から頂いた寄付金で、平成25年度予算において特定費用準備資金として措置済みの資金を充当し、以下の各種事業を行った。

- 林芙美子資料のレプリカ作成
 (1)座椅子(尾道市所蔵資料)
 (2)原稿3点 「家をつくるにあたって」「落合日記」「放浪記第2部あとがき」

<参考>

特定費用の準備資金の状況

- 資金の名称:林芙美子生誕110年記念事業準備資金
- 活動の実施予定時期:平成24年度から平成27年度
- 積立金額:10,000千円
- 本事業への充当額
 平成24年度(決算額)2,026千円(2,025,500円)
 平成25年度(決算額)2,890千円(2,889,164円)
 平成26年度(決算額)940千円(939,987円)
 平成27年度(当初予算)4,142千円
 合計9,996,651円
- 資金残額:3,349円

【今後の課題】

- 林芙美子との関係のある他自治体等と連携した情報交換を継続していく。
- 記念館施設においては、新宿区との調整のうえ補修等を行う。
- 林芙美子資料の修復やレプリカ作成を推進し、来館者に公開する。
- 次回の生誕120年の展示につなげる。

支出・収益内訳

林芙美子関連記念事業

【自主事業】

支出

単位:円

科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算現額	決算額	差異	執行率
人件費	0	0	0	0	0	0	--
事業費	1,912,000	0	0	1,912,000	939,987	972,013	49.1%
通信運搬費	11,000	0	0	11,000	10,969	31	99.7%
消耗品費	65,000	0	0	65,000	50,006	14,994	76.9%
委託費	1,836,000	0	0	1,836,000	879,012	956,988	47.8%
經常費用計	1,912,000	0	0	1,912,000	939,987	972,013	49.1%

収益

単位:円

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算現額	決算額	差異	収益率
自主財源	1,912,000	0	0	1,912,000	939,987	972,013	--
經常収益計	1,912,000	0	0	1,912,000	939,987	972,013	--

平成26年度 事業実績報告書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発	事業・枝事業番号	1-8
事業名	夏目漱石関連記念事業	担当課	学芸課
		種別	自主事業

成果・特徴

平成27年度に実施を予定している熊本時代の漱石関連展示会(協働企画展)開催に向け、熊本近代文学館での資料調査や熊本県庁等と相互イベント打合せを実施した。また、漱石に関する連続講座(全3回)や漱石に関する史跡めぐり等を実施、博物館閲覧室内に「漱石文庫コーナー」を設置するなど、平成29年の(仮称)「漱石山房」記念館の開館に向け、気運醸成を図ることができた。

区分・項目	25年度		26年度				対前年度 決算比	
	予算	決算	当初予算額	予算現額(A)	決算(B)	差異(A-B)		執行率
収入								
事業収益 (円)	0	0	0	0	0	0	--	--
自主財源(財団負担金)(円)	0	0	1,281,000	1,281,000	828,838	452,162	--	--
経常収益計	0	0	1,281,000	1,281,000	828,838	452,162	--	--
支出								
事業費 (円)	0	0	1,281,000	1,281,000	828,838	452,162	64.7%	--
人件費 (円)	0	0	0	0	0	0	--	--
経常費用計	0	0	1,281,000	1,281,000	828,838	452,162	64.7%	--
収 支 (円)	0	0	0	0	0	0	--	--
	目標	実績	目標(C)	実績(D)	差異(D-C)	達成率	備考	
漱石関連の図書の購入を計画的に行い、閲覧室で公開する	-	-	-	-	--	--	-	
満足度アンケート等結果	-	-	-	-	--	--	-	
単位費用(円)	--	--	--	--	--	--	成果指標のみ	

【実績】

<成果指標> 漱石関連の図書の購入を計画的に行い、閲覧室で公開する。 - <実績> -
達成率 -- 前年度実績比較 --

<内訳・内容>

- 展示会の開催に向けた事前調査
平成27年度協働企画展「熊本と新宿をつなぐ作家 漱石・八雲」の開催に向け、11月に熊本へ出張交渉・資料調査や連携協力、展示・企画の目途をつける。
- 関連講演会の開催(1-4講座・講演会の開催)
漱石の誕生日に合わせ、1月に連続講座「今こそ漱石」(全3回)を実施した。参加者計253人。
- 関連史跡めぐりの実施(1-5歴史文化探訪)
漱石の命日に合わせ、12月9日に歴史文化探訪「夏目漱石と神楽坂」を実施した。参加者55人。
- 漱石関連図書の購入
夏目漱石関連図書320冊を購入した。漱石の命日12月9日から、閲覧室内に「漱石文庫コーナー」を設置して公開した。公開図書は、博物館Webページでリストを掲載した。
- 関連施設の視察の実施
森鷗外記念館の講座に3回参加、神奈川近代文学館を視察、新宿の漱石弥生講演会、小泉八雲シンポジウムに参加した。

【今後の課題】

- 平成29年度に開館する(仮称)「漱石山房」記念館の動向を見守りながら事業を実施し、区民等の気運を醸成し、区事業の効果を高める。
- 新宿区、財団、両担当者レベルでの情報共有、打合せ等を必要に応じて実施し、区の方針や要望に柔軟に対応し、区と連携して事業を展開する。

支出・収益内訳

夏目漱石関連記念事業

【自主事業】

支出

単位:円

科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算現額	決算額	差異	執行率
人件費	0	0	0	0	0	0	--
事業費	1,281,000	0	0	1,281,000	828,838	452,162	64.7%
旅費交通費	589,000	0	0	589,000	229,050	359,950	38.8%
消耗品費	648,000	0	0	648,000	595,328	52,672	91.8%
使用料及び賃借料	44,000	0	0	44,000	4,460	39,540	10.1%
經常費用計	1,281,000	0	0	1,281,000	828,838	452,162	64.7%

収益

単位:円

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算現額	決算額	差異	収益率
自主財源	1,281,000	0	0	1,281,000	828,838	452,162	--
經常収益計	1,281,000	0	0	1,281,000	828,838	452,162	--

平成26年度 事業実績報告書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発	事業・枝事業番号	1-9
事業名	博物館ボランティアの活動支援	担当課	学芸課
		種別	補助事業

成果・特徴

史跡ガイド部会・展示ガイド部会・林芙美子記念館ガイド部会・落合アトリエガイド部会・事業サポート部会の全5部会で活動を行った。レベルアップ研修の充実、活動機会の提供、企画への参加などを図るとともに、自主グループへの支援を行った。幼稚園児から高齢者まで幅広い世代に向けてガイドをすることができる人材が揃っており、多くの活動の機会をコーディネートすることができた。ボランティアはそれぞれ日々自己研鑽を積んでおり、来館者からの評価も高い。

区分・項目	25年度		26年度					対前年度 決算比
	予算	決算	当初予算額	予算現額(A)	決算(B)	差異(A-B)	執行率	
収入								
事業収益 (円)	0	0	120,000	120,000	147,000	△ 27,000	122.5%	--
区補助金 (円)	5,079,000	4,409,668	5,164,000	5,164,000	4,422,971	741,029	85.6%	100.3%
経常収益計	5,079,000	4,409,668	5,284,000	5,284,000	4,569,971	714,029	86.4%	103.6%
支出								
事業費 (円)	1,673,000	1,235,066	1,877,000	1,877,000	1,403,615	473,385	74.7%	113.6%
人件費 (円)	3,406,000	3,174,602	3,407,000	3,407,000	3,166,356	240,644	92.9%	99.7%
経常費用計	5,079,000	4,409,668	5,284,000	5,284,000	4,569,971	714,029	86.4%	103.6%
収 支 (円)	0	0	0	0	0	0	--	--
	目標	実績	目標(C)	実績(D)	差異(D-C)	達成率	備考	
延べボランティア活動回数(回)	1,400	2,096	1,900	1,922	22	101.1%	-	
満足度アンケート等結果	3.0	4.4	3.0	4.6	1.6	153.3%	-	
単位費用(円)	3,628	2,104	2,718	2,301	△ 417	115.3%	成果指標のみ	

【実績】

<成果指標> 延べボランティア活動回数(回) 1,900 回 < 実 績 > 1,922 回
 達成率 101.1% 前年度実績比較 91.6%
 (回/回)

<内訳・内容>

- 1 ボランティア登録者数 実数134人 延べ240人
- 2 ボランティアの活動実績年間合計:延べ1,992回
 (内訳)
 (1)史跡ガイド(登録者43人):延べ145回 (歴史文化探訪、林氏墓地関連事業等)
 (2)展示ガイド(登録者56人):延べ623回 (館内ガイド、団体ガイド、社会科見学等)
 (3)林芙美子記念館ガイド(登録者40人):延べ457回 (館内ガイド、団体ガイド、内部公開等)
 (4)落合アトリエ記念館ガイド(登録者42人):延べ297回 (館内ガイド、団体ガイド等)
 (5)事業サポート(登録者59人):延べ400回 (イベントの補助、事務作業等)
- 3 その他運営に関する実績
 (1)全体会:延べ2回、2日、147人(4月26日、9月14日)
 (2)レベルアップ講座:延べ3回、3日、196人(4月26日、6月5日、9月14日)
 (3)その他研修会等:延べ28回、28日、583人(展示研修、歴史・文化探訪座学・実踏等)
 (4)ボランティアコーディネート研修への参加:ボランティアのサポートを行うとともに、地域の人材が活動する機会を増やし、それらの活動で博物館や記念館の魅力を増加させるため、学芸課職員2人が受講した。

【今後の課題】

- 1 ボランティア全体のガイド技術、マナー等の向上を図る。
- 2 博物館事業への積極的な参画を図るとともに、活動の場の提供を進める。
- 3 夏目漱石に関する知識・ガイド技術のスキルアップを図る。
- 4 各地域におけるボランティアの主体的な活動をコーディネートする。
- 5 自主活動を支援すると共に、地域の人的資源として位置づける。

支出・収益内訳

博物館ボランティアの活動支援

【補助事業】

支出

単位:円

科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算現額	決算額	差異	執行率
人件費	3,407,000	0	0	3,407,000	3,166,356	240,644	92.9%
事業費	1,877,000	0	0	1,877,000	1,403,615	473,385	74.7%
旅費交通費	3,000	0	2,000	5,000	3,850	1,150	77.0%
通信運搬費	105,000	0	0	105,000	93,095	11,905	88.6%
消耗品費	1,514,000	0	△ 2,000	1,512,000	1,095,819	416,181	72.4%
使用料及び賃借料	81,000	0	0	81,000	47,471	33,529	58.6%
諸謝金	44,000	0	0	44,000	42,000	2,000	95.4%
委託費	130,000	0	0	130,000	121,380	8,620	93.3%
経常費用計	5,284,000	0	0	5,284,000	4,569,971	714,029	86.4%

収益

単位:円

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算現額	決算額	差異	収益率
事業収益	120,000	0	0	120,000	147,000	△ 27,000	122.5%
受取区補助金	5,164,000	0	0	5,164,000	4,422,971	741,029	85.6%
経常収益計	5,284,000	0	0	5,284,000	4,569,971	714,029	86.4%